

第1問 (45点)

1. 商品(本体価格¥400,000)を売り上げ、代金は10%の消費税とともに掛けとした。なお、消費税については税抜方式で記帳する。

税抜=税別 仕入・売上と消費税を別に仕訳する。

仕 入	/	買掛金など	/	売 上
仮払消費税				仮受消費税

2. 法人税の中間申告を行い、法人税 500,000、住民税 ¥150,000、事業税 ¥250,000 を現金で納付した。法人税は2回に分けて払います。

1回目『中間納付』の時は「仮払」	仮払法人税等	/ 当座預金など
決算	法人税等	/ 仮払法人税等
		未払法人税等

2回目『確定納付』のときは「未払」	未払法人税等	/ 当座預金など
-------------------	--------	----------

3. 出張中の従業員から当座預金口座に¥100,000の入金があった。このうち¥40,000については得意先から注文を受けた際に受け取った手付金であるが、残額については、詳細は不明である。

内容不明の出金 = 「仮払金」・内容不明の入金 = 「仮受金」

手付金 = 「前払金」・「前受金」

4. 得意先千葉商事から、前期に貸倒れとして処理していた売掛金 ¥420,000のうち¥140,000が回収され、当座預金口座に振り込まれたが、誤って貸方を売掛金と処理していたことが判明したので、本日これを訂正する。訂正にあたっては、取引記録のすべてを訂正する方法ではなく、記録の誤りのみを部分的に修正する方法によること。

あきらめて貸倒れ処理していたお金が返ってきた 「償却債権取立益」

正しい仕訳：当座預金 140,000 償却債権取立益 140,000

間違い仕訳：当座預金 140,000 売 掛 金 140,000

ひっくり返す：売掛金 140,000 当座預金 140,000

正しい仕訳：当座預金 140,000 償却債権取立益 140,000

あわせたのが答え：売掛金 140,000 償却債権取立益 140,000

5. 従業員 5 名が負担すべき生命保険料 ¥50,000 を小切手を振り出して支払った。なお、この生命保険料は当月末において従業員の給料（総額 ¥1,250,000）から差し引くことにした。

従業員が払うところを代わりに払ってあげた = 会社の従業員に対する立替金「従業員立替金」(資産)

従業員立替金 50,000      当座預金 50,000

6. 先週末に掛けて 仕入れた商品 50 個 (@ ¥6,000) のうち、本日 5 分の 1 を 返品 し、代金は掛代金から控除した。

返品は購入仕訳の反対です。    仕入 / 買掛金

買掛金 / 仕入

7. 決算日において、現金過不足（現金の不足額） ¥5,000 の原因を調査した結果、通信費 ¥7,000 と受取利息 ¥2,000 の計上漏れ が判明した。

現金の不足額 5,000 は、例えば帳簿が 10,000 円のと看、実際が 5,000 円。

現金過不足 5,000      現金 5,000 ← この仕訳がされていたということ。

現金過不足を反対に持って行って取り消し。判明した費用は左に、収益は右に並べます。

通信費 7,000              現金過不足 5,000  
受取利息 2,000

8. オフィス機器 ¥250,000 と事務用の 消耗品 ¥20,000 を購入し、代金のうち ¥70,000 は小切手を振り出して支払い、残額は 来月末からの 4 回払い とした。

オフィス機器 = 「備品」      消耗品 = 「消耗品費」      来月末 = 払ってないので「未払金」

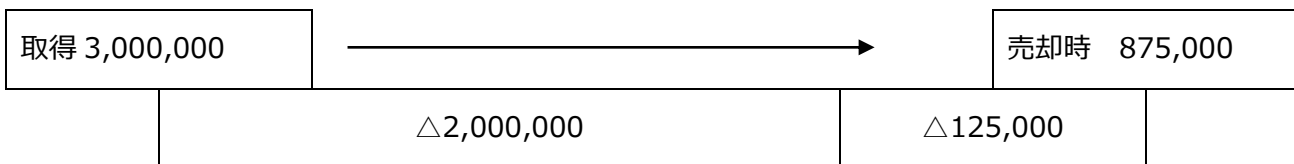
9. 車両（×2年4月1日に取得、取得原価¥3,000,000、残存価額はゼロ、耐用年数6年、定額法、間接法により記帳）を×6年6月30日に¥1,000,000で売却し、売却代金は翌月末に受け取ることにした。なお、当社の決算は3月31日である。減価償却費は月割計算によること。

取得×2年4/1                      ×3年×4年×5年                      ×6年3/31                      売却×6年6/30

① 減価償却累計額	② 減価償却費
-----------	---------

①  $3,000,000 \div 6 = 500,000 \times 4 = 2,000,000$

②  $3,000,000 \div 6 = 500,000 \times 3 \div 12 = 125,000$



10. 山梨商事に商品¥100,000を注文し、手付金として¥40,000を小切手を振り出して支払った。

内金・手付金 = 「前払金」・「前受金」

11. 従業員に対する給料の支払いにあたって、給料総額¥580,000のうち、かねて立替払いしていた従業員負担の生命保険料¥15,000と、所得税の源泉徴収分¥87,000を差し引き、残額は現金で支給した。

給料は総額で。従業員に立て替えてあげた = 「従業員立替金」

12. 商品¥200,000（税抜価格）を仕入れ、代金は消費税10%を含めて掛けとした。なお、消費税については税抜方式で処理する。

税抜 = 税別で仕訳します。

13. 先日、商品¥86,000を掛けで仕入れたが、この取引について借方、貸方とも誤って¥68,000と記帳していたので、正しい金額に修正した。

訂正仕訳は『間違いをひっくり返した仕訳 + 正しい仕訳』

正しい仕訳： 仕入 86,000      買掛金 86,000

間違い仕訳： 仕入 68,000      買掛金 68,000

間違いをひっくり返す： 買掛金 68,000      仕入 68,000

正しい仕訳を追加する： 仕入 86,000      買掛金 86,000

答え  
仕入 18,000      買掛金 18,000

14. 決算において、すでに費用処理されている切手 (@84 円) 50 枚とハガキ (@63 円) 20 枚が未使用であることが判明したため、適切な勘定に振り替える。

切手・ハガキ = 「通信費」(費用)      使っていない分は「貯蔵品」(資産) へうつす。

15. 以下の納付書にもとづき、普通預金口座から振り込んだ。

領 収 証 書			
税目		本 税	300,000
	法人税	○ × 税	
		□ △ 税	
		合 計 額	¥300,000
		納期等	20××××
		の区分	30××××
		中間 申告	<b>確定 申告</b>
住所	兵庫県××市		
氏名	伊丹商事株式会社		
		出納印 ×3.5.25 南銀行	

法人税は2回に分けて払います。

中間納付 仮払法人税等 / 現金など

決算 法人税等 / 仮払法人税等

未払法人税等

**確定納付** 未払法人税等 / 現金など

第2問 (20点)

(1)

1	仕 入	1,000	支 払 手 形	800
			買 掛 金	200
2	受 取 手 形	1,500	売 上	2,000
	売 掛 金	500		
	発 送 費	100	現 金	100

仕入先元帳 = 買掛金元帳    得意先元帳 = 売掛金元帳



3. 受取手形および売掛金の期末残高に対して、差額補充法により3%の貸倒引当金を設定する。  
 $\{受取手形 536,000 + 売掛金 (676,800 - 12,800)\} \times 3\% = 36,000$      $36,000 - 13,600 = 22,400$

貸倒引当金繰入    22,400                      貸倒引当金    22,400

4. 期末商品棚卸高は¥320,000である。なお、売上原価は「仕入」の行で計算すること。

仕入            316,000            繰越商品    316,000            ← 期首繰越商品

繰越商品    320,000            仕入            320,000            ← 期末繰越商品

5. 建物および備品に対して、以下の資料にもとづいて定額法により減価償却を行う。  
 建物 残存価額：0円 耐用年数：20年  
 備品 残存価額：0円 耐用年数：5年  
 なお、建物のうち¥720,000は×8年12月1日に取得したもので、定額法(残存価額は0円、耐用年数は30年)により減価償却を行う。また、減価償却費は月割りで計上する。

建物 2,920,000

新しい： $720,000 \div 30 \text{年} \times 4 \text{か月} \div 12 \text{か月} = 8,000$

古い   ： $2,200,000 \div 20 \text{年} = 110,000$

備品  $380,000 \div 5 \text{年} = 76,000$

減価償却費    194,000            建物減価償却累計額    118,000

備品減価償却累計額    76,000

6. 通信費のうち¥46,800は未使用の切手代である。

貯蔵品            46,800            通信費            46,800

7. 借入金は×8年5月1日に借入期間1年、年利率2%の条件で借り入れたもので、利息は元金の返済時に支払うこととしている。なお、当期分の利息は月割計算する。

支払利息            5,500            未払利息            5,500

$300,000 \times 2\% \times 11 \text{か月} \div 12 \text{か月} = 5,500$

8. 支払保険料は×8年12月1日に向こう6か月分を一括して支払ったものであり、未経過分は前払処理する。

前払保険料            9,000            保険料            9,000

$27,000 \div 6 \text{か月} = 4,500 \times 2 \text{か月} = 9,000$